

【足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会】議事録

会 議 名	令和３年度足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会		
開催年月日	令和４年２月１５日（火）		
開催時間	午後４時３０分 ～ 午後８時３０分		
開催場所	東京女子医科大学附属足立医療センター ４階会議室		
出席状況	出席委員数：６名 欠席委員数：０名		
出席委員	酒 井 雅 男 委員 (会長に選出)	芳 木 亮 介 委員	早 川 貴美子 委員
	土 田 寛 委員	長谷川 勝美 委員 (副会長に選出)	馬 場 優 子 委員
事業者 (ヒアリング等 出席事業者)	・学校法人 東京女子医科大学経営統括部 ・東京女子医科大学附属足立医療センター事務局 ・株式会社 梓設計		
事 務 局	衛生部衛生管理課		
審 議 事 項	(１) 審査内容について (２) 項目１「財務状況」および項目２「資金計画」の審査 (３) 建設に係るビデオ視聴及び６つの機能の確認のための現地視察 (４) 項目３「スケジュール」と項目４「事業計画および工事・建築内容」 の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (５) 全体を通しての審議と採決		
1 開会から諮 問まで	<事務局> ・あいさつ ・配付資料の確認 ・委員紹介 ・審議のすすめ方の説明 <長谷川委員>（会長選出までの司会） ・定足数の確認による会議の成立 ・会議非公開の確認 ・審査会についての説明 （補助金交付決定の妥当性について確認、審査する旨説明） ・会長再選出		

	(委員の互選により酒井雅男委員が会長に再選出) ・副会長再選出 (会長の指名により長谷川勝美委員が副会長に再選出) ・諮問 (足立区長代理で衛生管理課長から会長へ諮問書授受)
2 審議事項 (1) 審査内容について	<事務局> ・各委員の意見を反映させた審査確認表に基づいて、審査項目、審査内容等について説明。 <全委員> ・審査の項目、内容、基準および方法について、審査会の総意のものとして全委員が了承する。
2 審議事項 (2) 項目1 「財務状況」 および項目2 「資金計画」 の審査	◆財務状況◆ <委員> 平成30年度から令和2年度までの3事業年度に係る財務状況を分析したところ、結論として財務状況等の内容を総合的に斟酌し、補助金交付を否定するほどの問題点は無いものと判断する。 直近の令和2年度はコロナの影響を受け受入患者数が減少し、病床利用率等の患者数に関連する指標が軒並み悪化した。他方、患者数減少による医療収入減少をコロナ補助金で補填しているため収支として問題はないと判断する。 なお、有利子負債依存度は依然として高いが与信リスク悪化の兆候は見受けられない。したがって、令和元年度の財務安全性指標は分析計算上悪化しているものの、その内容に異常性は認められない。 しかしながら、コロナの影響が令和3年度以降財務状況にどのように反映してくるか不確実性があるため、事業収支について今後の見通しをどのようにたてているか事業者ヒアリング時に確認して個別の評価をしたい。 <委員> 事前質問の中に平成30年度以降人件費支出が増加傾向にある点について、東医療センター移転に向けて看護師数を増やしたためとの回答を得ているとの記載がある。 医療は質であるため、看護師の数を維持してもらいたい。 <委員> 人件費率のみ見れば改善しているが、医療サービス上、人を削減していくのはどうなのかをヒアリング時に確認したい。 <委員> 竣工式の際に周産期医療の師長から働き甲斐を持って働いていくとの意見をいただいている。

	◆資金計画◆ <事務局> ・学校法人東京女子医科大学の2018年度（実績）から2021年度までの各年度の事業資金計画（収支予定）について領収書（写）を参考に説明。補助金の交付を決定した場合、今年度（2021年度）は、区から40億円の補助となる。 参考：病院棟分の支出額（工事費） ①2018年度（実績） 2,643,840,000円 ②2019年度（実績） 3,965,760,000円 ③2020年度（実績） 3,965,760,000円 ④2021年度（実績） 15,863,040,000円 <委員> 別紙3-1では補助金の欄に東京都との記載があるが、国の補助金はどこに記載があるのか。 <事務局> 東京都の欄に国の補助金も含まれている。
2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	～建設に係るビデオ視聴及び6つの機能の確認のための現地視察～ ～《事業者入室》～ ・6つの機能について各担当より説明。 ①地域医療支援病院の医療の機能と今後の取組の方針 ②高度急性期医療の進展のための機能 ③救命救急センターの機能、方針 ④地域災害拠点中核病院の機能、方針 ⑤周産期母子医療センターの現況と機能。今後の方針 ⑥地域がん診療病院の現況と機能、方針 ・病院機能の再承認の状況について - 救命救急センターは令和4年1月1日に承認済。 - 地域災害拠点中核病院、地域周産期母子医療センターは令和4年1月より再承認の扱い。 - 地域医療支援病院は令和4年3月の審議会を経て令和4年3月に承認予定。 - 地域がん診療病院も令和4年3月の審議会にて承認予定。

2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	・事前質問への回答 (質問1) 十分な医療サービスを提供する観点から、コスト削減を意識しつつも職員の人員数やスタッフレベルを担保するための計画はあるか。 (回答1) 看護職については採用計画を立て2023年4月採用予定数は110名となるように計画を立てている。 その他の職種については、採用計画は無くその都度欠員が出たら補充を行っているという状況である。 (質問2) 新設備の基本設計では、コロナ対応を加味して若干の設計変更がなされているが、当該変更による追加工事費の発生は無かったか。 また、状況変化による感染対策強化の為の設計変更の必要性が発生している。追加工事の計画がある等の後発事象はあるか。 (回答2) 感染症対策に伴う整備による工事費の増額があり、全体の工事費等の見直しを行ったが、最終的に追加の建築コストが発生した。 今後の感染症対策の設備投資については感染状況の動向を見つつ情勢等を考慮しつつ拡充整備を進める方針。 現段階では、新たに整備をする予定はない。 (質問3) 借入金113億の借入先毎（ と ）の内訳額及び借入条件（借入期間、利率、その他の返済条件、担保）はどうなっているか。 (回答3) 借入金については、全額 からとなった。借入実施については令和4年3月を予定している。 借入条件について、借入期間は30年。当初3年は据置。利率は0.7%。その他の返済条件は無し。担保については、足立医療センターの建物を担保としている。 (質問4) 当該借入金の元利返済額（負担）は、足立医療センターの医療活動資金収支に見合う水準で計画されているか (回答4) 足立医療センターについては、学校法人東京女子医科大学の附属施設として建設している経緯があるので、返済については学校法人全体での収益で返済する計画となる。
---	--

2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	< 〇〇〇 委員 > 説明時に患者を通して行政との連携との話があったが、具体的にはどのようなイメージなのか。 また、在宅での医療的ケア児を支援していく面で、足立医療センターとしてどのように協力や支援をしてもらえるのか。 < 事業者 > 行政との関わりについて、現段階でははっきりとしたヴィジョンがあるわけではない。現段階では、本院や八千代医療センターからの紹介患者が大多数であり、足立医療センターから地元の医師会の病院等へ患者を紹介するのはこれからになると考えられる。 今後、足立区の患者を診ていく中では、足立区医師会や足立区医師会を通じて行政に情報提供をしていく必要性がある。 < 事業者 > 在宅での医療的ケア児については、在宅診療医が主な役割を務めている。足立医療センターはその中の「あおぞら診療所」と連携し、在宅で診れない児童を引き受けている。 < 〇〇〇 委員 > 足立区には放射線治療ができる病院が2か所ある。地域病院が放射線治療を足立医療センターに紹介した際、再度、他の病院への紹介とならない為にも、是非ともリニアックのような放射線治療機器の導入をお願いしたい。 < 〇〇〇 委員 > 行政との連携の中で言えば、足立区民のみならず周辺自治体との中で病院がどのように機能していくのかは、行政がリーダーシップを取り、医療圏の中で周辺自治体や関係機関との連携のプラットフォームを作ってもらいたい。 また、モビリティを含めたアクセス面での確保も協力して欲しい。 今後は、地域コミュニティレベルでの関係を作って欲しい。 ～《 事業者退室 》～
《 休憩 》（審査確認表回収および集計）	

2 審議事項 (4) 全体を通しての審議と採決	<事務局> 各委員の総合評価においては「適」といただいております、全体として「適」と思われる。 <■■■■委員> 今回、足立区大学病院施設等整備費補助金交付条例施行規則第5条第1項に基づく補助金の交付の申請があった学校法人東京女子医科大学に対して、補助金の交付の決定は妥当であると思われる委員の方は挙手を願う。 挙手 6名 <■■■■委員> 結果として、6名中6名の賛成結果となり、足立区大学病院施設等整備費補助金交付条例施行規則第14条第3項により、当審査会は、今回、補助金の交付の申請があった学校法人東京女子医科大学に対して、補助金の交付の決定をすることは妥当であると決する。 以 上
3 閉会	<事務局> ・事務連絡